



アイヌタイムズ

第 38 号

2006 年 6 月 30 日 (金) アイヌ語ペンクラブ

アイヌタイムズ第 38 号(2006 年 6 月 30 日発行)からアイヌ語抜粋
著者: 横山裕之

萱野茂 ニシパ イエ イタク 萱野茂さんの言葉を聞いて クヌ ワ

(アイヌ イタク [アイヌ語])

(日本語)

テエタ、萱野茂 ニシパ テレビ オロ タ エネ
ハウエアン ヒ;

"エチオカ アナク エチコロ イタク エチエ エ
アシカイ ルウェ ネ。

コロカ、チュタリ アナク チコロ イタク チエ
クニ ハットホ アン ワ アイネ、チエ エアイ
カブ ルウェ ネ。

チコロ ケウトウム エチエラムペウテク ナンコ
ロ。" セコロ ハウエアン ヒ クヌカラ アムキ
リ。

オヤ テレビ番組 オロ タ "民族 コロ イタク
アナク、ネ 民族 イツケウエ ネ。" セコロ ハ
ウエアン ヒ カ クヌカラ ルウェ ネ。

シサム イタク タクプ イエ ウタラ、ネ イタク イ
ペ エラムペウテク ナンコロ クニ クラム。

アイヌイタク アエネパカシヌ コロ カン ヒケ、
イタク アアニ、アイヌ ウタラ マカナク カムイ
エオリパク ヤ カ ケラマン。

アイヌ ウタラ マカナク ピリカ ケウトウム ピリ
カ プリ コロ ウタラ ネ ヤ カ ケラマン。

ウサ オカ ウタラ コロ イタク カ コロ プリ
カ、オピッタ アエヤム ペ ネ クニ クラム。

オヤ ウタラ コロ プリ カ ケウトウムピリカ ノ
アヌ ワ アエラマン ヤクン、エトコ タ アエラ
ムペウテク ペ カ アエラマン エトクシ ルウェ
ネ。

昔、萱野茂さんがテレビでこのように言いま
した。

『あなたたちは自分の言葉を話すことができま
す。

でも、私たちは自分の言葉を話すのを禁じられ
て、ついに話すことができなくなりました。

私たちの気持ちはあなたたちにはわからない
でしょう』と話したのを見たことがあります。

別のテレビ番組で『民族の言葉は、その民族
の根幹です』と話したのも見ました。

日本語しか話さない人たちは、この意味はわ
からないだろうと思います。

私はアイヌ語を教えられています、アイヌ語
で、アイヌの人たちがどのように神様を敬って
いるかがわかりました。

アイヌの人たちがどのように良い心良い行いを
持つ人たちかもわかりました。

いろいろな人たちの言葉も文化も全て大切な
ものだとは思いますが。

他の人たちの文化も心よく聞いて理解するな
らば、以前にはわからなかったこともわかるよ
うになります。

ネワアンペ シノ ピリカ プ ネ セコロ クヤイヌ。

タネ、インネ ウタラ 英語 イタク パテク イエワ、ネ "英語 モシリ" アナク "グローバル・スタンダード" セコロ カ アポロセ プ ネ コロカ、イタク シネプ ネ ヤク ウエン セコロ クヤイヌ。

ヘマンタ クス ウサ オカ 民族 ウコトウムウエン ヒカ アン ヤ?

カニ アナクネ エスペラント イタク エラマンペ クネ ヒケ、1887 パ タ ザメンホフ ネ イタク カラ ルウエ ネ。

"アニ 民族 ウトウル アウエンテ プ 宗教 ネワ イタク ネ" セコロ ネ クル ヤイヌ ルウエネ。

エポソカネ、オヤ モトホ オカ ナンコロ コロカ、エスペラント イタク イエ ウタラ エネ ヤイヌヒ;

エスペラント イタク イナン 民族 コロ ペ カソモ ネ クス、アコロ イタク ネヤ アコロ プリネヤ オヤ 民族 ウタラ コロ クニ イカシパオツテ カ ソモ キ ノ、ネン カ ソモ ウタサ ロシキ ノ、ウサ オカ 民族 ウタラ ウコイタク クニ プ ネ、セコロ ヤイヌ ルウエ ネ。

参考:「ブラハ宣言」

[http://www.hokkajda-esp-
ligo.jp/jp/AinaManifestoDePrago.htm](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/AinaManifestoDePrago.htm)

(アイヌイタク)

[http://www.hokkajda-esp-
ligo.jp/jp/prago/prago-j.htm](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/prago/prago-j.htm)

(シサム イタク)

アコロ プリ カ アコロ イタク カ アエヤム ノ、アウタリ オピッタ ウウエカタイエロツケアンヤク ピリカ セコロ クヤイヌ。

萱野 ニシパ イエ イタク アナクネ、イタク ピシノ アコチャヌプコロ ペ アン セコロ クヤイヌ。

テ パクノ アリキキ ノ アイヌ プリ イエパカシヌ ワ イコレ ルウエ ネ。

カムイ モシリ タ カムイ ネ アン クル カイヌコロ コロ コンカミ ナ。

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけていただくと大変うれしく思います。

それはとても素晴らしいことだと思います。

今は多くの人たちが英語ばかりを話し、その『英語の国』は『グローバル・スタンダード』とも称されるものですが、言葉は一つではいけないのだと私は思います。

なぜいろんな民族は仲が悪いこともあるのでしょうか?

私はエスペラント語を勉強する者です。1887年に、ザメンホフがその言語を作りました。

『人が民族を仲違いさせる物は、宗教であり言語である』とその人は考えました。

もちろん、それがすべてではないでしょうが、エスペラントを使っている人は、次のように考えます。

「エスペラント語はどの民族のものでもないため、私たちの言葉や文化を他の民族たちに持つように命令せずに、誰も争わずに、いろんな民族の人たちが会話できるものである、と考えます。

参考:「ブラハ宣言」

[http://www.hokkajda-esp-
ligo.jp/jp/AinaManifestoDePrago.htm](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/AinaManifestoDePrago.htm)

(アイヌ語)

[http://www.hokkajda-esp-
ligo.jp/jp/prago/prago-j.htm](http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/prago/prago-j.htm)

(日本語)

文化も言葉も尊重して、私たちみんな仲良くなればよいと思います。

萱野さんの語る言葉は、言葉ごとに聴いて参考になるところがいっぱいあると私は思います。

今まで一生懸命アイヌ文化を教えてくださいました。

神の国で神になった人を、私は尊敬しながら礼拝しますよ。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)
購読料: 1500 円 (4 号ごと／アイヌ語版のみ)
2300 円(4 号ごと／アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール: otarunay@yahoo.co.jp

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、主に日本語由来のアイヌ語外来語です。